

履修要領

1. 履修方法等

1) 学期

学年は、4月1日から3月31日までで、次の学期に分かれています。

前期：4月1日から9月30日まで

後期：10月1日から3月31日まで

2) 授業

① 授業時間割

授業は、前期・後期ごとに週単位で編成された授業時間割表により実施します。

授業時間割表は、毎学期の授業開始1週間前に掲示するとともに配布します。

なお、授業、講義室の変更及び休講は掲示、「楽メ」によって行います。また、教員等の急病等については、当日掲示やメール配信される場合がありますので、必ず掲示等で確認してください。

② 授業時間と授業時間帯

1 時限	2 時限	3 時限	4 時限	5 時限
9:00～10:30	10:40～12:10	13:00～14:30	14:40～16:10	16:20～17:50

③ 休講

授業担当者が、公務や急病等により授業が行えなくなる場合は、休講となります。

休講は、原則として1週間前から掲示しますが、当日掲示による連絡になることがあります。必ず、登下校時掲示で確認してください。また、休講の掲示がなく、始業時刻から30分を経過しても担当教員が教室に来られない場合は、学事課に連絡し指示を受けてください。

④ 補講

休講等を補うための補講は、掲示板によりお知らせしますので、日時・教室等をよく確かめて受講してください。補講を行わない場合もあります。

⑤ 集中講義

ある一定期間内に集中して講義を（集中講義）を行う科目があります。詳細は掲示板でお知らせします。

3) 気象条件の悪化・公共機関のスト等による授業の対応

1) 岐阜県全域又は美濃地方（岐阜・西濃地域）に「暴風・大雨警報」、「大雪警報」が発令された場合は、原則休講とする。

2) 災害・公共交通機関等の影響により登学できない場合。

ただし、下表に定める警報・ストが解除された場合は、次のとおり取扱う。

警報及びスト解除時間	午前7時まで	午前11時まで
授業の対応	平常通りの授業	午後は平常通りの授業

4) 休学・復学・退学

① 休学：病気などやむを得ない理由により3ヶ月以上修学を継続することができない場合、身元保証人が連署した「休学願」を学長に提出し許可を得て休学することができます。ただし、病気によるときは医師の診断書が必要です。認められる休学期間は、1年以内ですが特別な理由があると認められれば学長の許可のもと休学を延長することができますが、通算して2年を超えることはできません。休学期間中は、半期50,000円の在籍料が発生します。(学生便覧「授業料の納入方法」を参照してください。)

② 復学：休学期間であっても休学理由がなくなった場合は、「復学願」を学長に提出しその許可を得て復学することができます。ただし、病気によるときは医師の診断書が必要です。

③ 退学：退学しようとするときは、身元保証人が連署した「退学願」を学長に提出し許可を得て退学することができます。ただし、病気によるときは医師の診断書が必要です。退学する場合の学納金の取扱いは下記のとおりです。

期の途中で退学を希望する場合は、その期までの学生納付金等を完納していないと許可されません。なお、退学した場合、既に納入した入学金を含む学生納付金等は返還されません。

授業料等を全期分納入済みで、期の途中で退学した場合、前期・後期を問わず入学金を含む授業料等の学納金は返還しません。

5) 履修方法

教育課程表及び授業時間割表にしたがい、各自が履修計画を検討し卒業までに計画的に卒業要件単位数を修得しなければなりません。履修上の注意事項は次のとおりです。

① 必修科目、選択必修科目を含めて、卒業に必要な単位数以上を履修登録、修得してください。

② 同一時限に複数の授業科目を履修することはできません。

③ 既に単位を修得した授業科目は、再び履修することはできません。

6) 履修登録

前期、後期の始めに履修登録期間があります。この期間に履修登録の手続きを行ってください。

履修登録をしなければ、授業科目を受講し成績評価を受けることができません。登録期間を過ぎての訂正は一切認めません。

7) 既修得単位の認定

本学に入學する前に大学、又は短期大学等において履修した単位を、本学に入學し、た後、本学における授業科目の履修により修得したものと見なすことができます。

ただし、看護学科は総合科学科目のみとし、13単位を限度として認めます。リハビリテーション学科は、総合科学科目のみとし、14単位を限度として認めることとします。

単位の認定を申請しようとする者は、所定の書類を4月10日までに提出しなければなりません。(期日を過ぎた場合は認められません。)

2. 臨地・臨床実習科目の履修に関する条件

実習科目を履修するためには、別表のとおり履修前提条件を満たしている必要があります。履修前提条件を満たしていない人は、実習科目を履修できませんので注意してください。(看護学科は52ページを参照してください。)

リハビリテーション学科実習科目の履修前提条件

(1) 理学療法学専攻

実習科目名	年次	履修条件科目
臨床実習Ⅱ(評価)	2	1年次、2年次前学期の必修科目すべて、かつ選択科目を含めて71単位以上
臨床実習Ⅲ(応用)	3	臨床実習Ⅱ(評価)
臨床実習Ⅳ(総合)	3	臨床実習Ⅲ(応用)

(2) 作業療法学専攻

実習科目名	年次	履修条件科目
臨床実習Ⅱ(評価)	2	1年次、2年次前学期の必修科目すべて、かつ選択科目を含めて71単位以上
臨床実習Ⅲ(応用)	3	臨床実習Ⅱ(評価)

(リハビリテーション学科は、53ページ参照してください。)

履修規程別表（21年度以降入学生）

看護学科

科目区分		特定授業科目	履 修 要 件	
			単位を修得していること	履修を終了していること
専 門 地 実 習 目	基礎看護学	基礎看護学実習Ⅰ		
		基礎看護学実習Ⅱ	【基礎看護学領域】	【基礎看護学領域科目】 看護学概論 看護技術論 看護過程論 生活行動援助技術論 回復促進援助技術論 基礎看護学実習Ⅰ 発達看護概論 家族看護概論 臨床看護概論
	成人看護学	成人看護学実習Ⅰ	【基礎看護学領域】全科目 成人看護学概論 成人看護学援助論Ⅰ	成人高齢者疾病治療論Ⅰ 成人高齢者疾病治療論Ⅱ
		成人看護学実習Ⅱ	【基礎看護学領域】全科目 成人看護学概論 成人看護学援助論Ⅱ 緩和ケア論	成人高齢者疾病治療論Ⅰ 成人高齢者疾病治療論Ⅱ
	高齢者看護学	高齢者看護学実習Ⅰ		高齢者看護学概論
		高齢者看護学実習Ⅱ	【基礎看護学領域】全科目 高齢者看護学概論 高齢者看護学援助論 高齢者看護学実習Ⅰ	成人高齢者疾病治療論Ⅰ 成人高齢者疾病治療論Ⅱ
	小児看護学	小児看護学実習Ⅰ		小児看護学概論
		小児看護学実習Ⅱ	【基礎看護学領域】全科目 小児看護学概論 小児看護学援助論 小児看護学実習Ⅰ	母性小児疾病治療論
	看護学	母性看護学実習	【基礎看護学領域】全科目 母性看護学概論 母性看護学援助論	母性小児疾病治療論
	看護学	精神看護学実習	【基礎看護学領域】全科目 精神看護学概論 精神看護学援助論	精神疾病治療論
	看護学	在宅看護論実習	【基礎看護学領域】全科目 地域看護学概論 地域看護学援助論Ⅰ 地域看護学援助論Ⅱ	公衆衛生学
	看護学	統合実習	【基礎看護学領域】全科目 「成人看護学」右欄の科目を除く全科目 「高齢者看護学」右欄の科目を除く全科目 「小児看護学」右欄の科目を除く全科目 「母性看護学」右欄の科目を除く全科目 「精神看護学」右欄の科目を除く全科目 「地域看護学」右欄の科目を除く全科目	成人看護学実習Ⅰ、Ⅱ 高齢者看護学実習Ⅱ 小児看護学実習Ⅱ 母性看護学実習 精神看護学実習 地域看護学実習

3. 試験、成績評価及び単位の認定

1) 試験の種類

試験は、原則として下記の種類があります。ただし、科目によっては授業時間中に随時試験を行うことがあります。

試験を受けることができる者は、当該科目時間数の3分の2以上出席した者です。

なお、学生納付金を延納・滞納し、分納を認められていない者は、受験を認めない。

① 定期試験

定期試験は、前期・後期の毎期に1回実施されます。

② レポート試験

上記の試験に代わり、レポートの提出を求められることがあります。詳細は担当教員の指示に従ってください。

③ 追試験

「病気その他やむを得ない理由により本試験を受験できなかったもの」のみです。

正当な理由を裏付ける第三者の証明書（日付けが入ったもの）を添え、学事課に提出し許可を受けてください。

④ 再試験

試験及び追試験に不合格となった者は、願出により再試験を実施します。

2) 追試験の手続き

追試験の受験を希望する者は、当該試験の終了から1週間以内に追試験願を学事課に提出しなければなりません。なお、受験できなかった理由がわかる書類（病気やけがの場合は医師の診断書、その他忌引や事故等による場合は証明できる書類等）の添付が必要です。

願い出が認められた場合は、担当教員の指示に従って受験することになります。

なお、追試験を欠席した場合は、いかなる理由があってもその後の追試験は行いません。

3) 追実習の手続き

病気その他やむを得ない理由により実習を欠席し、規定の実習時間数に満たなかった場合、願い出が認められた者に対し追実習を行うことがあります。

4) 再試験の手続き

再試験を希望する者は、定められた期日までに再試験願に再試験料（1科目につき3,000円）を添えて申請し、学長の承認を得なければなりません。

なお、再試験を欠席した場合は、いかなる理由があってもその後の再試験は行いません。

5) 再実習の手続き

実習単位が認定されなかった場合は、本人の願い出により実習科目責任者が認めた場合に再実習を受けることができる。

定められた期日までに再実習願に再実習料（1科目につき 4,000 円）を添えて申請し、学長の承認を得なければなりません。

6) 学内における再実習費について

看護学科及びリハビリテーション学科の学生で実習単位が認定されなかった場合、学内であっても再実習登録料 4,000 円と実習指導料 1,400 円（1日分）を支払うものである。

7) 試験上の注意

① 試験会場について

- ・試験はすべて、定められた講義室で行います。
- ・座席は学籍番号順になります。（別途掲示します）

② 試験開始にあたっての注意

- ・試験の際、机には学生証、筆記用具のみを置いてください。
 - ・その他、科目によって指示された物品は机上においても構いません。
- ※学生証を忘れた場合は、事務局にて仮学生証の発行を受けてください。

（仮学生証は当日限り有効です。）

- ・かばんは口を閉め、足元においてください。
- ・携帯電話は電源を切り、時計代わりに使用しないでください。

③ 試験中の注意

- ・試験開始時間の 5 分前までに着席してください。
- ・開始時間から 20 分経過までは、遅刻扱いとなり、試験を受けることができます。
- ・それ以降は入室できません。当該科目の試験は欠席扱いとなります。
- ・やむを得ない事情（交通事情等）により、20 分以内に入室できないと思われる場合は、必ず電話連絡をしてください。事情によっては別室での受験を認める場合があります。
- ・試験開始 30 分後から退室することができますが、再入室は認めません。
- ・不正行為を行なった場合、直ちに退室となり、当該科目は 0 点となります。
さらに学則第 28 条の適用対象となります。
- ・質問がある場合、物を落とした場合、トイレに行きたい場合等は、手をあげて監督教員に申し出てください。

④ その他の注意

- ・病気、その他やむを得ない理由により試験を受けることができない具体的事項（学則第 23 条第 2 項 (3)）

本人の病気又は負傷の場合	医師の診断書等
二親等以内の親族の死亡の場合	会葬葉書等
試験当日の交通機関等の事故	事故又は延着証明書

就職、進学試験の場合

証明書

※ 追試験および再試験については本学履修規程に従います。

7) 成績評価

成績の評価は次のとおりです。(学則第23条第2項)

成績は、本人に優、良、可、不可の評語をもって通知します。

評語	定期試験、レポート試験	追 試 験	再 試 験
優	100点～80点	なし	なし
良	79点～70点	100点～70点	なし
可	69点～60点	69点～60点	100点～60点

8) 成績発表

試験の可否結果は、掲示によりお知らせします。

4. 卒業要件、学位の授与及び国家試験受験資格

1) 卒業要件

本学を卒業するためには、本学に3年以上在学し、看護学科では教育課程(その1・その2)、リハビリテーション学科では(別表1・別表2)に定める授業科目の次の表に示す単位数を修得しなければなりません。

<看護学科の卒業要件単位数>

21年度以降入学生		必修科目	選択科目	合計
総合科学科目		5単位	8単位以上	13単位以上
専門基礎分野	専門支持科目	19単位	2単位以上	21単位以上
	基幹科目	63単位		63単位
	展開科目		2単位以上	2単位以上
卒業要件単位数		87単位	12単位以上	99単位以上

<理学療法学専攻、作業療法学専攻>

区 分		必修科目	選択科目	合計
総合科学科目		10単位	4単位以上	14単位以上
専門科目	専門基礎科目	26単位	1単位以上	27単位以上
	専門展開科目	57単位	—	57単位
卒業要件単位数		93単位	5単位以上	98単位以上

2) 学位の授与及び国家試験

所定の単位を修得すると、看護学科は、「短期大学士(看護学)」の学位を、リハビ

リテーション学科理学療法学専攻は「短期大学士（理学療法学）」の学位を、作業療法学専攻は「短期大学士（作業療法学）」の学位が授与され、看護師、理学療法士、作業療法士の受験資格が得られます。

国家試験は、厚生労働省により年1回（2月または3月）実施されます。

岐阜保健短期大学履修規程

（総 則）

第1条 本学における授業科目（以下「科目」という。）の履修方法及び終了認定は、学則によるもののほか、この規程による。

（履修方法）

第2条 科目ごとの単位の修得は、教育課程表のとおりとする。ただし、別表（看護学科実習科目の履修前提条件）の特定授業科目（以下「特定科目」という。）を履修するためには、同表の履修要件を満たさなければならぬ。

（履修の終了）

第3条 当該科目時間数の3分の2（隣地実習については5分の4）以上出席したものを終了とする。

- 2 前項の時間数に達しないものは、次年度以降において履修し、終了しなければならない。
- 3 前項の規程にかかわらず、臨地実習において、病気その他やむを得ない理由により履修要件に満たない場合でも、当該年度に追実習を行うことがある。

（単位の認定）

第4条 履修の終了者に対し、試験、その他総合的評価を行い単位修得を認定する。

（認定の評価）

第5条 認定の評価は、百点満点とし、60点以上を合格とする。

（試験）

第6条 試験は定期試験と追試験および再試験がある。

- 2 定期試験は履修し授業科目について原則として学期末に行う。ただし、学期の中途に終了した科目の定期試験及び再・追試験は学期末以外の必要と認めたとときに行うことができる。
- 3 試験を欠席した場合には、当該科目の試験を放棄したものとみなし失格とする。
- 4 前項に定める事項の他、必要な事項は別に定める。

（追試験及び追実習）

第7条 病気その他やむを得ない理由により試験を受けなかった者は、願出により追試験を受けることができる。

- 2 前項の願出は、医師の診断書又はその理由を証する書面を添えて提出しなければならない。
- 3 前項の規程にかかわらず、臨地実習において、病気その他やむを得ない理由で実習を欠席し、規程の実習時間に満たなかった場合、願出により追実習を行うことができる。

4 追試験及び追実習の成績は、80点を超えた場合であっても80点と評価する。

(再試験及び再実習)

第8条 試験に不合格となった者は、願出により再試験を受けることができる。

2 前項の規程にかかわらず実習単位が認定されなかった場合には再実習を行うことができる。再試験の願出は、試験の前日17時までとする。

3 再試験及び再実習の成績は、60点を超えた場合であっても60点と評価する。

4 再実習の場所が学内であっても同様に再実習登録料4,000円と実習指導料1,400円(1日分)を支払うものである。

(再履修)

第9条 再試験に不合格となった者は、次年度以降において当該科目を再履修し、終了しなければならない。ただし、教務委員会で特別な事情があると認められた場合は、再履修について内規により、再度試験を行うことができる。

(試験における不正行為)

第10条 試験において不正行為があった者は、当該科目を失格とし、岐阜保健短期大学学則第28条を適用する。

(卒業延期その他の措置)

第11条 学長は、単位が認定されなかった者及び卒業試験に不合格となった者に対しては、教授会にはかり卒業延期その他の措置を決定する。

(補 則)

第12条 この規程の施行に関し必要な事項は、教授会の議を経て学長が定める。

附 則

この規程は、平成19年 4月 1日から施行する。

附 則

この規程は、平成21年 3月11日から施行する。

附 則

この規程は、平成24年 4月 1日から施行する。

附 則

この規程は、平成26年4月1日から施行する。

21年度以降入学生 履修登録表
(看護学科) 学籍番号 氏名 No.1

開講区分	授業科目	単位数		配当年次	登録科目に○を入れる			認定単位数	
		必修	選択		1年次	2年次	3年次		
総合 科学 科目	外国語	英語Ⅰ(英会話・基礎)	1		1	前			
		英語Ⅱ(英会話・看護)	1		2	後			
		英語Ⅲ(英文読解)		1	1	後			
		中国語会話		1	2	前			
	情報 科学	情報処理論	1		1	前			
		情報処理演習		1	2	後			
	人間 と文化	人間関係論	2		1	前			
		人間と文学		2	2	前			
		人間と芸術		2	1	後			
		人間と哲学		2	2	前			
		岐阜の風土と生活		2	1	前			
	現代 社会 と人間	現代社会と人間		2	1	後			
		教育と人間		2	2	後			
		法律と人間		2	1	前			
		国際関係論		2	2	後			
	学 と環境	生命の科学		2	1	前			
		科学技術と環境		2	1	後			
小計(17科目)		5	23	✓	✓				
専門 科目	造 人体の 機能 構	解剖生理学Ⅰ	2		1	通			
		解剖生理学Ⅱ	1		1	前			
		免疫と感染	1		1	後			
		代謝と栄養	1		2	後			
		人間工学		1	1	後			
	疾病 の成 り立 ちと 回復 の 促進	病理学	1		1	後			
		成人高齢者疾病治療論Ⅰ	1		2	後			
		成人高齢者疾病治療論Ⅱ	2		2	前			
		母性小児疾病治療論	1		2	通			
		精神疾病治療論	1		2	後			
		放射線治療論	1		2	前			
		薬剤治療論	1		1	後			
		感染防止論	1		1	前			
		東洋医学概論		1	1	後			
		リハビリテーション論		1	2	前			
	カウンセリング論		1	2	前				
	健康 支援 と社 会保 障制 度	生涯人間発達学	1		1	前			
		公衆衛生学	1		1	前			
		健康と法律	1		1	前			
社会福祉概論		1		1	前				
保健医療福祉統計概説		1		3	後				
国際医療活動論			1	2	前				
医療経済論		1	2	後					
小計(23科目)		19	6	✓	✓				

21年度以降入学生 履修登録表 (看護学科) 学籍番号 氏名 No.2

開講区分	授業科目	単位数		配当年次	登録科目に○を入れる			認定単位数			
		必修	選択		1年次	2年次	3年次				
専門科目	看護の基本	看護学概論	2		1	前					
		生命と倫理	1		2	後					
		看護技術論	2		1	前					
		看護過程論	1		1	後					
		生活行動援助技術論	2		1	前					
		回復促進援助技術論	2		1	後					
		発達看護概論	1		1	前					
		家族看護概論	1		1	前					
		臨床看護概論	1		1	後					
		基礎看護学実習Ⅰ	1		1	前					
		基礎看護学実習Ⅱ	2		2	前					
		看護研究	1		2	通					
					3	前					
	基幹科目	ライフサイクル・健康レベル・健康障害に対応した看護	成人看護学概論	1		1	後				
			成人看護学援助論Ⅰ	2		2	後				
			成人看護学援助論Ⅱ	2		2	前				
			緩和ケア論	1		2	前				
			高齢者看護学概論	1		1	後				
			高齢者看護学援助論	2		2	前				
			小児看護学概論	1		1	後				
			小児看護学援助論	2		2	前				
			母性看護学概論	1		2	前				
			母性看護学援助論	2		2	後				
			精神看護学概論	1		2	前				
			精神看護学援助論	2		2	後				
			成人看護学実習Ⅰ	3		3	通				
			成人看護学実習Ⅱ	3		3	通				
			高齢者看護学実習Ⅰ	2		1	後				
			高齢者看護学実習Ⅱ	2		3	通				
			小児看護学実習Ⅰ	1		1	後				
			小児看護学実習Ⅱ	1		3	通				
			母性看護学実習	2		3	通				
			精神看護学実習	2		3	通				
			看護の統合と実践	地域看護学概論	1		2	前			
				地域看護学援助論Ⅰ	2		2	後			
				地域看護学援助論Ⅱ	1		2	後			
	看護管理論	1			2	前					
	災害看護論	1			1	後					
	臨床看護実践の実際	1			3	後					
	安全管理論(演習)	1			3	前					
	在宅看護論実習	2			3	通					
統合実習	2			3	後						
小計(41科目)		63	0								
展開科目	ヘルスアセスメント論演習			1	3	後					
	ケアマネジメント論			1	2	後					
	認知症老人ケア論			1	3	後					
	救急医療看護論			1	3	前					
	代替医療論			1	3	後					
小計(5科目)		0	5								
合計(86科目)		87	34								
卒業要件及び履修方法											
総合科学科目 必修5単位、選択8単位以上、合計13単位以上履修											
専門支持科目 必修19単位、選択2単位以上、合計21単位以上											
基幹科目 必修63単位履修											
展開科目 選択2単位以上											
卒業要件 : 99 単位以上											

表 1

履修登録表

(リハビリテーション学科 理学療法専攻) 学籍番号

氏名

No.1

科目区分	授業科目の名称	単位数		配当年次	登録科目に○を入れる			認定単位数	
		必修	選択		1年次	2年次	3年次		
総合 科学 科目	外国語	英語Ⅰ(英会話・基礎)	1		1	前			
		英語Ⅱ(英会話・応用)	1		2	前			
		英語Ⅲ(英文読解)	1		1	後			
		医学英語	1		2	前			
	情報科学	情報処理論	1		1	前			
		情報処理演習	1		1	後			
	人間と文化	人間関係論	2		1	前			
		人間と文学	1		1	前			
		人間と芸術		2	2	後			
		人間と哲学		2	2	前			
	現代社会	岐阜の風土と生活		2	1	前			
		現代社会と人間		2	1	後			
		教育と人間		2	2	前			
		法律と人間		2	1	前			
	環境と科学	国際関係論		2	1	後			
		生命の科学		2	1	後			
		科学技術と環境		2	1	後			
		保健科学の演習	1		1	後			
小計(18科目)		10	18	✓	✓				
専門 基礎 科目	心身の発達と機能及び	解剖学	2		1	通			
		解剖学実習	1		1	後			
		機能解剖学	1		1	後			
		機能解剖学実習	1		2	前			
		生理学Ⅰ(総論)	1		1	前			
		生理学Ⅱ(各論)	1		2	前			
		生理学実習	1		1	後			
		運動学Ⅰ	1		1	後			
		運動学Ⅱ	1		2	前			
		運動学実習	1		2	後			
	及び病と回復過程の成り立ち	人間発達学	1		1	後			
		病理学	1		1	前			
		公衆衛生学	1		1	後			
		臨床心理学	1		2	後			
		一般臨床医学	1		1	前			
		内科学	1		1	後			
		整形外科	2		2	通			
		神経内科学	2		2	通			
		精神医学	1		2	後			
		小児科学	1		1	後			
	の 理 念 シ ョ リ ン	老年学	1		1	前			
		リハビリテーション医学	1		1	前			
		リハビリテーション概論	1		1	前			
		社会福祉概論		1	1	前			
		ケアマネジメント論		1	1	後			
小計(25科目)		26	2	✓	✓				

表 2

履修登録表

		授業科目の概要		単位数		配当		登録科目に○を入れる			認定単 位数	
				必修	選択	年次		1年次	2年次	3年次		
専 門 展 開 科 目	基 礎 理 学 療 法 学	理学療法学概論	1		1	前						
		理学療法教育管理学	1		1	前						
		表面解剖学	1		1	後						
		理学療法研究概論	1		2	後						
		臨床運動学	1		2	前						
		病態運動学	1		2	後						
	理 学 療 法 評 価 学	理学療法評価概論	1		1	後						
		理学療法評価検査・測定論Ⅰ	1		1	後						
		理学療法評価検査・測定論Ⅱ	1		2	前						
		理学療法評価実習	1		2	前						
		理学療法評価演習	1		2	後						
	理 学 療 法 治 療 学	運動療法学	1		2	前						
		運動療法学実習	1		2	後						
		物理療法学	1		2	前						
		物理療法学実習	1		2	後						
		日常生活活動学	1		2	前						
		日常生活活動実習	1		2	後						
		義肢装具学	1		2	前						
		義肢装具学実習	1		2	後						
		理学療法治療学Ⅰ（基礎治療技術論）	2		2	前						
		理学療法治療学Ⅱ（中枢神経系障害）	2		2	前						
		理学療法治療学Ⅲ（整形外科系障害）	2		2	前						
		理学療法治療学Ⅳ（内部疾患系障害）	2		2	後						
		理学療法治療学Ⅴ（小児疾患系障害）	2		2	後						
		理学療法治療学Ⅵ（呼吸 摂食 障害）	2		2	後						
	療 地 域 理 学 学	地域リハビリテーション	2		2	前						
		生活環境学	1		1	前						
		リハビリテーション関連機器	1		1	前						
	法 学 総 合 理 学 療	臨床実習Ⅰ（基礎）	1		1	後						
		臨床実習Ⅱ（評価）	4		2	後						
		臨床実習Ⅲ（応用）	8		3	通						
		臨床実習Ⅳ（総合）	8		3	通						
		総合演習	1		3	後						
	小計（33科目）		57	0								
	合計（76科目）		93	20								
	卒業要件及び履修方法											
	基礎科目 必修10単位、選択4単位以上、合計14単位以上履修											
	科 専 門 目 門	専門基礎科目 必修26単位、選択1単位以上、合計27単位以上										
		専門展開科目 必修57単位、合計57単位履修										
	卒業要件 : 98単位以上											

表 1 履修登録表 (リハビリテーション学科 作業療法学専攻) 学籍番号 氏名 No. 1

科目区分	授業科目の名称	単位数		配当年次	登録科目に○を入れる			認定単位数	
		必修	選択		1年次	2年次	3年次		
総合 科学 科目	外国語 □	英語Ⅰ (英会話・基礎)	1□		1	前			
		英語Ⅱ (英会話・応用)	1□		2	前			
		英語Ⅲ (英文読解)	1□		1	後			
		医学英語	1□		2	後			
	科学情報	情報処理論	1□		1	前			
		情報処理演習	1□		1	後			
	人間と文化	人間関係論	2		1	前			
		人間と文学	1		1	前			
		人間と芸術		2	2	後			
		人間と哲学		2	2	前			
		岐阜の風土と生活		2	1	前			
	人間現代社会と	現代社会と人間		2	1	後			
		教育と人間		2	2	前			
		法律と人間		2	1	前			
		国際関係論		2	1	後			
	科学環境と	生命の科学		2	1	前			
		科学技術と環境		2	1	後			
		保健科学の演習	1		1	後			
小計 (18科目)		10	18	△	△				
専門 科目	達人 体の 構造 と機 能及 び心 身の 発 達	解剖学	2		1	通			
		解剖学実習	1		1	後			
		機能解剖学	1		1	後			
		機能解剖学実習	1		2	前			
		生理学Ⅰ (総論)	1		1	後			
		生理学Ⅱ (各論)	1		2	前			
		生理学実習	1		1	後			
		運動学Ⅰ	1		1	後			
		運動学Ⅱ	1		2	前			
		運動学実習	1		2	後			
		人間発達学	1		1	前			
	回疾 復病 過程 と障 害の 促進 の成 り立 ち及 び	病理学	1		1	前			
		公衆衛生学	1		1	前			
		臨床心理学	1		2	後			
		一般臨床医学	1		1	前			
		内科学	1		1	後			
		整形外科学	2		2	通			
		神経内科学	2		2	通			
		精神医学	1		2	後			
		小児科学	1		1	後			
	老年学	1		1	前				
	シハ保 ョビ健 ンリ福 の社 テーと ーリ 理理 念	リハビリテーション医学	1		1	後			
		リハビリテーション概論	1		1	前			
		社会福祉概論		1	1	前			
ケアマネジメント論			1	1	後				
小計 (24科目)		26	2	△	△				

表 2

履修登録表

(リハビリテーション学科 作業療法学専攻) 学籍番号 氏名 No.2

	授 業 科 目 の 概 要□		単位数		配当 年次	登録科目に○を入れる			認定単 位数
			必修	選択		1年次	2年次	3年次	
専 門 展 開 科 目	療基 法 学 作 業	作業療法学概論Ⅰ	1		1	前			
		作業療法学概論Ⅱ	1		2	後			
		作業療法学概論Ⅲ	1		1	後			
		基礎作業学	1		1	前			
	価作 学業 療 法 評	作業療法評価概論	1		1	後			
		作業療法評価検査・測定論Ⅰ	1		1	後			
		作業療法評価検査・測定論Ⅱ	1		2	前			
		作業療法評価実習	1		2	通			
		作業療法評価演習	1		2	後			
	作 業 療 法 治 療 学	作業学Ⅰ	1		2	前			
		作業学Ⅱ	1		2	前			
		作業療法学実習	1		2	後			
		日常生活活動学	1		2	前			
		日常生活活動実習	1		2	前			
		義肢装具学	1		2	前			
		スプリント	1		2	前			
		スプリント製作実習	1		2	後			
		作業療法治療学Ⅰ(中枢神経系障害)	2		2	前			
		作業療法治療学Ⅱ(整形外科系障害)	2		2	後			
		作業療法治療学Ⅲ(神経難病系障害)	2		2	後			
		作業療法治療学Ⅳ(内部疾患系障害)	2		2	後			
		作業療法治療学Ⅴ(小児疾患系障害)	2		2	後			
		作業療法治療学Ⅵ(呼吸 摂食 障害)	2		2	後			
	作業療法治療学Ⅶ(精 神 障 害)	2		2	前				
	療地 法域 学作 業	地域リハビリテーション	2		2	前			
		生活環境学	1		1	前			
		リハビリテーション関連機器	1		1	前			
	療総 法合 学理 学	臨床実習Ⅰ(基礎)	1		1	後			
		臨床実習Ⅱ(評価)	4		2	後			
		臨床実習Ⅲ(応用)	16		3	通			
		総合演習	1		3	後			
小計(31科目)		57	0						
合計(73単位)		93	20						
卒業要件及び履修方法									
基礎科目 必修10単位、選択4単位以上、合計14単位以上履修									
科専 目門	専門基礎科目 必修26単位、選択1単位以上、合計27単位以上履修								
	専門展開科目 必修57単位、合計57単位履修								
卒業要件 : 98単位以上									